



## 学校体育功労賞を受賞して

合志市立合志中学校 校長 徳淵盛也

このたび、栄えある令和元年度熊本県中学校体育連盟功労賞を賜りますとともに、盛大な祝賀会の一員として加えていただきましたことに心から感謝を申し上げます。また、これまで温かく御指導・御鞭撻をいただきました諸先輩・同僚の先生方、物心両面にわたり支えいただいた保護者の皆様・地域の方々、そして、出会った子どもたちに心からお礼を申し上げます。

私は、中学、高校、大学と野球を続け、いずれは高校野球の指導者になりたいとの思いから教員の道を志しました。当時は県立高校では体育教師の採用がなく、昭和57年に新採として熊本市立出水中学校に赴任し、体育教師としての基礎を学ばせて頂きました。また、軟式野球の種目理事を3年間経験させて頂きました。会場の確保と準備、審判の依頼など初めてのことばかりで苦労も大きかったのですが、大きな学びとなりました。

昭和62年から10年間、7名の会長、4名の理事長の下で軟式野球の専門部長を務めさせて頂きました。初めて県中体連の会議に出席したときは最年少という事もあり、とても緊張したことを思い出します。

野球競技は天候やグラウンドコンディションの影響が大きく、特に、平成4年の九州大会は、台風襲来により夜半まで強い風雨が続き、主会場であった運動公園野球場のフェンスに大木が倒れかかり、グラウンドは水たまりや飛散した枝葉のため実施が危ぶまれました。早朝には風雨も治まり会場担当の先生方と補助員総出の復旧作業により無事に大会を最後まで運営することができました。

また、大会運営を通して、九州各県の代表チームの試合を見て多くのことを学ばせて頂きました。私の在任期間は玉東中、泗水中、八代二中、玉名中、八代六中、鏡中などが九州、全国で大活躍をした時期でした。私自身が軟式野球の指導者としての視点や視野を広げることができ、選手へや指導やチーム作りが大きく変わっていったきっかけとなりました。

平成4年の九州大会を契機として、指導力の向上と生徒の競技力の向上を目指した中学野球の指導者の会「リニューアルリーグ」を発足させました。わずか数人で始めたこの会も現在では69を超える学校と指導者が参加しており、リーグ戦をはじめ指導者講習会の開催、県中体連軟式野球大会の会場係や審判員として大会運営に積極的に携わっています。

現在、少子化が進み中学生の軟式野球競技の人口が激減しています。野球を愛する者の一人として、子どもたちに野球の楽しさや魅力に触れてほしいと感じているところです。

最後になりましたが、熊本県中学校体育研究会・熊本県中学校体育連盟の益々の発展と会員の先生方のご活躍を祈念するとともに、長年にわたりご指導いただきました多くの先生方に感謝を申し上げ、お礼の言葉とさせていただきます。本当にありがとうございました。